

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎数的 I 数的推理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	5 2 時間 (2 単位)
授業コマ数	2 6 コマ (1 コマ 1 2 0 分)
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 数と文字式の計算</li> <li>2 方程式 (方程式、不定方程式)</li> <li>3 方程式 (不等式、過不足算)</li> <li>4 整数・計算パズル (約数と倍数)</li> <li>5 整数・計算パズル (割り算の余り、整数の性質)</li> <li>6 整数・計算パズル (数列、n 進法)</li> <li>7 整数・計算パズル (その他、整数に関する問題)</li> <li>8 科目試験第 1 回</li> <li>9 割合と比 (割合、比)</li> <li>10 割合と比 (比)</li> <li>11 割合と比 (売買算)</li> <li>12 割合と比 (濃度)</li> <li>13 割合と比 (濃度)</li> <li>14 速さ (速さ)</li> <li>15 速さ (旅人算)</li> <li>16 速さ (旅人算、通過算)</li> <li>17 速さ (流水算、時計算)</li> <li>18 科目試験第 2 回</li> <li>19 その他文章題 (仕事算、給排水算)</li> <li>20 その他文章題 (仕事算、給排水算、ニュートン算)</li> <li>21 その他文章題 (年齢算)</li> <li>22 その他文章題 (平均算)</li> <li>23 場合の数 (場合の数)</li> <li>24 場合の数 (順列、重複組合せ、円順列)、確率 (事象と確率)</li> <li>25 確率 (赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値)</li> <li>26 科目試験第 3 回</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎数的Ⅱ 判断推理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	36時間(2単位)
授業コマ数	18コマ(1コマ120分)
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 論理(対偶と三段論法)</li> <li>2 論理(ド・モルガンの法則、論理と集合)</li> <li>3 集合の要素(ベン図)</li> <li>4 集合の要素(キャロル表、交わりの最小値)、順序(順序の確定)</li> <li>5 順序(順序の変動)</li> <li>6 順序(順序の数値条件)</li> <li>7 順序(時計のずれ)、方位・位置(位置・座席表)</li> <li>8 方位・位置(位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて)</li> <li>9 科目試験1回目、方位・位置(円卓・議長席・道をへだてて)</li> <li>10 方位・位置(方位・作図)、対応(対応関係)</li> <li>11 対応(対応関係、スケジュール表)</li> <li>12 対応(スケジュール表、対応の数値条件、やりとり)</li> <li>13 勝敗(リーグ戦、トーナメント戦)</li> <li>14 うそつき</li> <li>15 暗号</li> <li>16 推理・手順(他人の判断から判断する)</li> <li>17 推理・手順(カードゲーム、石取りゲーム、てんびん)</li> <li>18 科目試験2回目、推理・手順(手順)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎数的Ⅲ 空間把握 ・ 資料解釈
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	44時間(2単位)
授業コマ数	22コマ(1コマ120分)
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	図形(平面・立体ともに)から物体の形状を正しく読み解く力を養う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 回転と軌跡(直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡)</li> <li>2 道順・一筆書き・位相(道順、一筆書き・位相)、平面構成(折り紙)</li> <li>3 平面構成(図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成)</li> <li>4 正多面体・展開図(正多面体、展開図)</li> <li>5 立体構成(サイコロ)</li> <li>6 立体構成(積木の問題、投影図)</li> <li>7 科目試験1回目</li> <li>8 立体構成(立体の切断、回転体)</li> <li>9 平面図形の計量(角度)</li> <li>10 平面図形の計量(平方根の計算、三平方の定理)</li> <li>11 平面図形の計量(相似比)</li> <li>12 平面図形の計量(面積比)</li> <li>13 平面図形の計量(面積比)</li> <li>14 科目試験2回目</li> <li>15 平面図形の計量(円)</li> <li>16 平面図形の計量(円、扇形と移動図形)</li> <li>17 立体図形の計量、資料解釈(実数)</li> <li>18 立体図形の計量、資料解釈(割合・指数・前年比)</li> <li>19 立体図形の計量、資料解釈(割合・指数・前年比)</li> <li>20 立体図形の計量、資料解釈(増加率)</li> <li>21 立体図形の計量、資料解釈(いろいろな資料)</li> <li>22 科目試験3回目</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎社会科学 I 政治
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	3 2 時間 (2 単位)
授業コマ数	1 6 コマ (1 コマ 1 2 0 分)
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 政治の基本概念 (国家論)</li> <li>2 政治制度論 (社会契約説、三権分立)</li> <li>3 政治制度論 (各国の政治制度)</li> <li>4 日本国憲法の特色、基本的人権総論</li> <li>5 幸福追求権、平等権</li> <li>6 自由権</li> <li>7 社会権、受益権</li> <li>8 憲法改正の手続き、国会の機構と運営</li> <li>9 国会の機構と運営</li> <li>10 内閣の機構と運営</li> <li>11 裁判所の機構と運営</li> <li>12 裁判所の機構と運営、地方自治</li> <li>13 地方自治</li> <li>14 政治過程論 (選挙制度)</li> <li>15 政治過程論 (選挙制度)</li> <li>16 政治の基本概念</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎社会科学Ⅱ 経済
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	26時間(1単位)
授業コマ数	13コマ(1コマ120分)
授業概要	金融政策・財政政策・外国為替など、経済の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済社会の変容</li> <li>2 現代の企業</li> <li>3 現代の市場</li> <li>4 国民所得</li> <li>5 経済成長と景気循環</li> <li>6 通貨制度と金融政策</li> <li>7 財政制度と財政政策</li> <li>8 財政制度と財政政策</li> <li>9 日本経済の動向</li> <li>10 貿易と外国為替</li> <li>11 貿易と外国為替</li> <li>12 国際経済の動向</li> <li>13 国際経済の動向</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	総合教養演習 I 基礎教養	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	5 6 時間 (2 単位)	
授業コマ数	2 8 コマ (1 コマ 1 2 0 分)	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・政治・文章理解の知識を学ぶ	
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	一般教養力検定 2 級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験	
特記		
授業計画	1	出題科目の分野別学習 1
	2	出題科目の分野別学習 2
	3	出題科目の分野別学習 3
	4	出題科目の分野別学習 4
	5	出題科目の分野別学習 5
	6	出題科目の分野別学習 6
	7	出題科目の分野別学習 7
	8	一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 1
	9	模擬試験の解説 (知能系科目)
	10	模擬試験の解説 (知識系科目)
	11	一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 2
	12	模擬試験の解説 (知能系科目)
	13	模擬試験の解説 (知識系科目)
	14	一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 3
	15	模擬試験の解説 (知能系科目)
	16	模擬試験の解説 (知識系科目)
	17	一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 4
	18	模擬試験の解説 (知能系科目)
	19	模擬試験の解説 (知識系科目)
	20	一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 5
	21	模擬試験の解説 (知能系科目)
	22	模擬試験の解説 (知識系科目)
	23	一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 6
	24	模擬試験の解説 (知能系科目)
	25	模擬試験の解説 (知識系科目)
	26	一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 7
	27	模擬試験の解説 (知能系科目)
	28	模擬試験の解説 (知識系科目)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養 I
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30 時間 (1 単位)
授業コマ数	15 コマ (1 コマ 120 分)
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 2 級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 訓読み・送り仮名 1</li> <li>2 訓読み・送り仮名 2</li> <li>3 熟語 1</li> <li>4 熟語 2</li> <li>5 熟語 3</li> <li>6 異字同訓・同音異義</li> <li>7 誤字訂正 1</li> <li>8 誤字訂正 2、類義語</li> <li>9 反対語</li> <li>10 漢字の意味・使い方 1</li> <li>11 漢字の意味・使い方 2</li> <li>12 項目別模擬試験 1</li> <li>13 項目別模擬試験 2</li> <li>14 直前模擬試験 1</li> <li>15 直前模擬試験 2</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定1級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 訓読み・送り仮名・熟語1</li> <li>2 訓読み・送り仮名・熟語2</li> <li>3 同音異義・異字同訓</li> <li>4 誤字訂正、類義語・反対語</li> <li>5 漢字の意味・使い方1</li> <li>6 漢字の意味・使い方2</li> <li>7 漢字の意味・使い方3</li> <li>8 ことわざ・故事成語・慣用句 1</li> <li>9 ことわざ・故事成語・慣用句 2</li> <li>10 特殊な漢字の読み書き1</li> <li>11 特殊な漢字の読み書き2</li> <li>12 項目別模擬試験1</li> <li>13 項目別模擬試験2</li> <li>14 直前模擬試験1</li> <li>15 直前模擬試験2</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30 時間 (1 単位)
授業コマ数	15 コマ (1 コマ 120 分)
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	面接時の入退室及び自己PRが出来るようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 面接の基本</li> <li>2 入退室の仕方、身嗜みチェック</li> <li>3 入退室効果測定</li> <li>4 自己PR作成 1</li> <li>5 自己PR作成 2</li> <li>6 自己PR作成 3</li> <li>7 自己PR効果測定</li> <li>8 面接質問項目 1</li> <li>9 面接質問項目 2</li> <li>10 面接質問項目 3</li> <li>11 面接効果測定</li> <li>12 受験先シミュレーション</li> <li>13 面接カードの作成</li> <li>14 模擬面接試験 (効果測定)</li> <li>15 模擬面接試験の検証</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学Ⅲ 社会	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	15時間(1単位)	
授業コマ数	8コマ(1コマ120分、最終コマのみ60分です)	
授業概要	労働問題・環境問題など、社会分野の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な社会問題の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	社会理論
	2	労働問題
	3	社会保障
	4	環境問題
	5	環境問題
	6	国際関係
	7	社会総復習
	8	社会総復習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学 I 地理	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	2 4 時間 (1 単位)	
授業コマ数	1 2 コマ (1 コマ 1 2 0 分)	
授業概要	気候、地形、世界各国の産業など地理の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	世界の地形 (山地と平野)
	2	世界の地形 (様々な地形)
	3	世界の気候 (熱帯、乾燥帯、冷帯、寒帯)
	4	世界の気候 (温帯)
	5	世界の農業 (アジア、ヨーロッパ)
	6	世界の農業 (アメリカ、オセアニア)
	7	世界の資源
	8	世界の工業
	9	世界地誌 (アジア、アフリカ)
	10	世界地誌 (ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア)
	11	生活と地域
	12	日本地誌
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ⅱ 日本史
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	28時間(1単位)
授業コマ数	14コマ(1コマ120分)
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本史の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大和政権と大化の改新</li> <li>2 平安時代</li> <li>3 平安時代の文化</li> <li>4 鎌倉時代</li> <li>5 室町時代</li> <li>6 鎌倉時代と室町時代の文化</li> <li>7 封建社会の確立</li> <li>8 江戸時代(武断政治、文治政治、三大改革)</li> <li>9 江戸時代(幕末)</li> <li>10 明治維新</li> <li>11 立憲体制の確立</li> <li>12 近代文化の発展</li> <li>13 大正時代</li> <li>14 昭和時代</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学 I 生物	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間 (1 単位)	
授業コマ数	10 コマ (1 コマ 120 分)	
授業概要	生体から自然環境まで、幅広い生物分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	生体における知識を身に着ける。自然環境や生態系への理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生体の構造 1
	2	生体の構造 2
	3	生体内の代謝 1
	4	生体内の代謝 2
	5	生殖と発生
	6	遺伝と変異
	7	刺激の受容と反応
	8	内部環境の恒常性と調節
	9	からだの防衛反応
	10	生物の集団・生物の進化と系統
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎自然科学Ⅱ 地学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	16時間(1単位)
授業コマ数	8コマ(1コマ120分)
授業概要	地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	地球を中心とした、自然環境を理解し知識を広げる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地球の姿と動く大地</li> <li>2 地震</li> <li>3 岩石</li> <li>4 大気と海洋</li> <li>5 気象現象、日本の四季</li> <li>6 太陽系と宇宙の構造</li> <li>7 太陽系と惑星</li> <li>8 恒星の世界</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語 I 文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間 (1 単位)	
授業コマ数	8 コマ (1 コマ 1 2 0 分、最終コマのみ 6 0 分です)	
授業概要	文章読解と基礎的な国語を並行して進める	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握、四字熟語
	2	要旨把握、四字熟語
	3	内容合致、ことわざ
	4	内容合致、ことわざ
	5	文書整序、文法基礎
	6	文書整序、文法基礎
	7	文章の穴埋め、敬語
	8	文章の穴埋め、敬語
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅱ 英語	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	15時間(1単位)	
授業コマ数	8コマ(1コマ120分、最終コマのみ60分です)	
授業概要	基礎的な英文法を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務で求められる基礎的な英語力を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	be動詞・動詞、熟語
	2	疑問文・感嘆文、熟語
	3	過去形・現在進行形、熟語
	4	現在完了・過去完了、熟語
	5	長文読解、熟語
	6	長文読解、熟語
	7	長文読解、熟語
	8	長文読解
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎演習V 知能系科目総合
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ120分)
授業概要	問題演習を通じて数的推理・判断推理の総復習を行う
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理・判断推理分野の基礎知識を定着させる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 数的推理の基礎知識の復習(方程式)</li> <li>2 数的推理の基礎知識の復習(不等式)</li> <li>3 数的推理の基礎知識の復習(整数)</li> <li>4 数的推理の基礎知識の復習(整数)</li> <li>5 数的推理の基礎知識の復習(計算パズル)</li> <li>6 数的推理の基礎知識の復習(比)</li> <li>7 数的推理の基礎知識の復習(比)</li> <li>8 数的推理の基礎知識の復習(速さ)</li> <li>9 数的推理の基礎知識の復習(速さ)</li> <li>10 数的推理の基礎知識の復習(仕事算)</li> <li>11 基礎力判定模擬試験</li> <li>12 数的推理の基礎知識の復習(場合の数)</li> <li>13 数的推理の基礎知識の復習(場合の数)</li> <li>14 数的推理の基礎知識の復習(確率)</li> <li>15 知能系科目総合確認試験</li> <li>16 判断推理の基礎知識の復習(論理)</li> <li>17 判断推理の基礎知識の復習(集合と要素の個数)</li> <li>18 判断推理の基礎知識の復習(集合と要素の個数)</li> <li>19 判断推理の基礎知識の復習(順序)</li> <li>20 判断推理の基礎知識の復習(順序)</li> <li>21 判断推理の基礎知識の復習(対応)</li> <li>22 判断推理の基礎知識の復習(対応)</li> <li>23 判断推理の基礎知識の復習(位置と方位)</li> <li>24 判断推理の基礎知識の復習(位置と方位)</li> <li>25 判断推理の基礎知識の復習(勝ち負け)</li> <li>26 判断推理の基礎知識の復習(カード・ゲーム)</li> <li>27 判断推理の基礎知識の復習(推理・手順)</li> <li>28 判断推理の基礎知識の復習(暗号)</li> <li>29 判断推理の基礎知識の復習(家系図)</li> <li>30 基礎力判定模擬試験</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎演習VI 知識系科目総合
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ120分)
授業概要	問題演習を通じて知識系科目全体の総復習を行う
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	公務に必要な一般教養の幅広い知識を定着させる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 政治の基礎知識の復習(国家と政治制度)</li> <li>2 政治の基礎知識の復習(基本的人権)</li> <li>3 政治の基礎知識の復習(基本的人権)</li> <li>4 政治の基礎知識の復習(統治機構)</li> <li>5 基礎力判定模擬試験</li> <li>6 政治の基礎知識の復習(地方自治)</li> <li>7 政治の基礎知識の復習(選挙制度)</li> <li>8 経済の基礎知識の復習(現代の企業と市場)</li> <li>9 経済の基礎知識の復習(国民所得)</li> <li>10 経済の基礎知識の復習(金融政策・財政政策)</li> <li>11 経済の基礎知識の復習(日本経済の動向)</li> <li>12 経済の基礎知識の復習(貿易と外国為替)</li> <li>13 経済の基礎知識の復習(国際経済の動向)</li> <li>14 知識系科目総合確認試験</li> <li>15 社会の基礎知識の復習(社会理論)</li> <li>16 社会の基礎知識の復習(労働問題と環境問題)</li> <li>17 地理の基礎知識の復習(地形)</li> <li>18 地理の基礎知識の復習(気候)</li> <li>19 地理の基礎知識の復習(農業)</li> <li>20 地理の基礎知識の復習(資源)</li> <li>21 地理の基礎知識の復習(工業)</li> <li>22 地理の基礎知識の復習(世界地誌・日本)</li> <li>23 基礎力判定模擬試験</li> <li>24 日本史の基礎知識の復習(奈良・平安時代)</li> <li>25 日本史の基礎知識の復習(鎌倉・室町時代)</li> <li>26 日本史の基礎知識の復習(安土桃山時代)</li> <li>27 日本史の基礎知識の復習(江戸時代)</li> <li>28 日本史の基礎知識の復習(明治維新・立憲体制の確立)</li> <li>29 日本史の基礎知識の復習(日清・日露戦争)</li> <li>30 知識系科目総合確認試験</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合教養演習Ⅱ 実践教養
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	56時間(2単位)
授業コマ数	28コマ(1コマ120分)
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・判断推理・空間把握・文章理解・政治・経済・社会の知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	一般教養力検定1級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 出題科目の分野別学習 1</li> <li>2 出題科目の分野別学習 2</li> <li>3 出題科目の分野別学習 3</li> <li>4 出題科目の分野別学習 4</li> <li>5 出題科目の分野別学習 5</li> <li>6 出題科目の分野別学習 6</li> <li>7 出題科目の分野別学習 7</li> <li>8 一般教養力検定1級タイプの模擬試験 1</li> <li>9 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>10 模擬試験の解説(知識系科目)</li> <li>11 一般教養力検定1級タイプの模擬試験 2</li> <li>12 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>13 模擬試験の解説(知識系科目)</li> <li>14 一般教養力検定1級タイプの模擬試験 3</li> <li>15 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>16 模擬試験の解説(知識系科目)</li> <li>17 一般教養力検定1級タイプの模擬試験 4</li> <li>18 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>19 模擬試験の解説(知識系科目)</li> <li>20 一般教養力検定1級タイプの模擬試験 5</li> <li>21 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>22 模擬試験の解説(知識系科目)</li> <li>23 一般教養力検定1級タイプの模擬試験 6</li> <li>24 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>25 模擬試験の解説(知識系科目)</li> <li>26 一般教養力検定1級タイプの模擬試験 7</li> <li>27 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>28 模擬試験の解説(知識系科目)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養 I
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30 時間 (1 単位)
授業コマ数	15 コマ (1 コマ 120 分)
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能検定 3・4 級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 電卓の基礎知識</li> <li>2 キー操作練習</li> <li>3 加減算練習</li> <li>4 見取算練習</li> <li>5 乗除算練習</li> <li>6 伝票算練習</li> <li>7 電卓総合演習 1</li> <li>8 電卓総合演習 2</li> <li>9 電卓総合演習 3</li> <li>10 電卓総合演習 4</li> <li>11 電卓総合演習 5</li> <li>12 電卓総合演習 6</li> <li>13 電卓総合演習 7</li> <li>14 電卓総合演習 8</li> <li>15 電卓総合演習 9</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	電卓演習における得点で評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能検定1・2級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 小数点以下の取り扱い諸注意 2 電卓実践演習1 3 電卓実践演習2 4 電卓実践演習3 5 電卓実践演習4 6 電卓実践演習5 7 電卓実践演習6 8 電卓実践演習7 9 電卓実践演習8 10 電卓実践演習9 11 電卓実践演習10 12 電卓実践演習11 13 電卓実践演習12 14 電卓実践演習13 15 電卓実践演習14
成績評価方法 (試験実施方法)	電卓演習における得点で評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス文書作成
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWordの操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	自身でビジネス文書を作成出来るようになる
教科書	オリジナル教材
特記	一般企業にて文書作成業務を経験した教員が、PCを使用してのビジネス文書作成を講義する。学生のビジネス文書作成を実技により評価する科目。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文字入力の基礎 1</li> <li>2 文字入力の基礎 2</li> <li>3 ビジネス文書作成 1 (案内文)</li> <li>4 ビジネス文書作成 2 (案内文)</li> <li>5 ビジネス文書作成 3 (送付状)</li> <li>6 ビジネス文書作成 4 (送付状)</li> <li>7 ビジネス文書作成 5 (社内文書)</li> <li>8 ビジネス文書作成 6 (社内文書)</li> <li>9 ビジネス文書作成 7 (表作成)</li> <li>10 ビジネス文書作成 8 (表作成)</li> <li>11 ビジネス文書作成 9 (表作成)</li> <li>12 ビジネス文書作成 10 (文章と表の組み合わせ)</li> <li>13 ビジネス文書作成 11 (文章と表の組み合わせ)</li> <li>14 ビジネス文書作成 12 (メール文章・メールの設定)</li> <li>15 効果測定</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定の得点で評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90 時間 (3 単位)	
授業コマ数	45 コマ (1 コマ 120 分)	
授業概要	公務員及び民間就職の活動前に基礎的なビジネスマナーや所作を学ぶ	
授業の進め方	座学中心ではあるが、一部実践を取り入れて進行する	
達成目標	就職活動を始めるうえでの基礎的スキルやマインドを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 就職活動の心構え 2 現在の就職を取り巻く環境 3 身だしなみ 1 (頭髪など) 4 身だしなみ 2 (スーツの着こなし) 5 正しい言葉遣い 1 (敬語の使用方法) 6 正しい言葉遣い 2 (ビジネス会話) 7 正しい言葉遣い 3 (復習および反復練習) 8 正しい言葉遣い 4 (効果測定) 9 立ち居振る舞い 1 (立ち姿勢・お辞儀) 10 立ち居振る舞い 2 (表情・挨拶) 11 立ち居振る舞い 3 (復習および反復練習) 12 立ち居振る舞い 4 (効果測定) 13 電話の掛け方 1 (基本所作) 14 電話の掛け方 2 (実践会話) 15 電話の掛け方 3 (復習および反復練習) 16 電話の掛け方 4 (効果測定) 17 ペン習字 1 18 ペン習字 2 19 ペン習字 3 20 ペン習字 4 21 エントリーシートの記入方法 1 (レクチャー) 22 エントリーシートの記入方法 2 (経歴欄の仮作成) 23 エントリーシートの記入方法 3 (自己PR等を含めた仮作成) 24 エントリーシートの記入方法 4 (提出用シート作成) 25 面接試験の評価方法 1 (個人面接) 26 面接試験の評価方法 2 (集団面接) 27 面接試験の評価方法 3 (集団討論) 28 自己分析 1 29 自己分析 2 30 自己分析 3	31 自己PR作成 1 32 自己PR作成 2 33 自己PRの発表準備 1 34 自己PRの発表準備 2 35 効果測定 36 求人票の見方 37 業界研究の手法 38 業界研究 1 39 業界研究 2 40 業界研究 3 41 業界研究の発表準備 1 42 業界研究の発表準備 2 43 業界研究の発表準備 3 44 業界研究の発表準備 4 45 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定の得点で評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	職業実務 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ (1 コマ 1 2 0 分) ※1 コマ目のみ 6 0 分	
授業概要	現役の国家公安職公務員の講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	公安職の仕事内容
	2	公安職に求められる資質
	3	研究レポートの作成 1
	4	研究レポートの作成 2
	5	研究レポートの作成 3
	6	研究レポートの作成 4
	7	研究レポートの作成 5
	8	レポートの検証
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ(1コマ120分、最終コマのみ60分です)
授業概要	警察署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	実務経験者(警察官)による講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	職種研究を通して、公務員の仕事を理解する
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 警察官の仕事内容</li> <li>2 警察官に求められる資質</li> <li>3 研究レポートの作成1</li> <li>4 研究レポートの作成2</li> <li>5 研究レポートの作成3</li> <li>6 研究レポートの作成4</li> <li>7 研究レポートの作成5</li> <li>8 レポートの検証</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	15時間(1単位)
授業コマ数	8コマ(1コマ120分、最終コマのみ60分です)
授業概要	官公庁(国家事務職)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う。
授業の進め方	官公庁(国家事務職)からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 官庁の仕組み</li> <li>2 省庁の仕事内容</li> <li>3 研究レポートの作成1</li> <li>4 研究レポートの作成2</li> <li>5 研究レポートの作成3</li> <li>6 研究レポートの作成4</li> <li>7 研究レポートの作成5</li> <li>8 レポートの検証</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	職業実務IV	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	15時間(1単位)	
授業コマ数	8コマ(1コマ120分、最終コマのみ60分です)	
授業概要	消防署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に消防官職種研究を行う	
授業の進め方	実務経験者(消防官)の講師による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	職種研究を通して、公務員の仕事を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	消防官の仕事内容
	2	消防官に求められる資質
	3	研究レポートの作成1
	4	研究レポートの作成2
	5	研究レポートの作成3
	6	研究レポートの作成4
	7	研究レポートの作成5
	8	レポートの検証
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅴ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	15時間(1単位)
授業コマ数	8コマ(1コマ120分、最終コマのみ60分です)
授業概要	地方行政の実務経験者の講義を受け、研究および発表を通じて地方行政の取り組みを学ぶ
授業の進め方	実務経験者(地方行政職)による講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	地方行政研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地方行政の仕組み(講義)</li> <li>2 諸問題に対する地方自治体の取り組み(講義)</li> <li>3 研究レポートの作成1</li> <li>4 研究レポートの作成2</li> <li>5 研究レポートの作成3</li> <li>6 研究レポートの作成4</li> <li>7 研究レポートの作成5</li> <li>8 レポートの検証</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30 時間 (1 単位)	
授業コマ数	15 コマ (1 コマ 120 分)	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実習
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う。
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 公安職種の体力試験に関する研究</li> <li>2 筋力トレーニング</li> <li>3 筋力トレーニング</li> <li>4 筋力トレーニング</li> <li>5 筋力トレーニング</li> <li>6 筋力トレーニング</li> <li>7 筋力トレーニング</li> <li>8 筋力トレーニング</li> <li>9 集団演技1</li> <li>10 集団演技2</li> <li>11 集団演技3</li> <li>12 集団演技4</li> <li>13 集団演技5</li> <li>14 集団演技6</li> <li>15 集団演技7</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、出席状況によって評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎演習 I 数的処理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	40 時間 (2 単位)
授業コマ数	20 コマ (1 コマ 120 分)
授業概要	数的処理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 方程式・不等式</li> <li>2 整数・計算パズル 1</li> <li>3 整数・計算パズル 2、割合と比 1</li> <li>4 割合と比 2、速さ</li> <li>5 速さ、仕事算、場合の数 1</li> <li>6 場合の数 2、確率</li> <li>7 論理、集合と要素の個数</li> <li>8 順序</li> <li>9 対応</li> <li>10 位置と方位、勝ち負け</li> <li>11 勝ち負け、カード、ウソの発言</li> <li>12 推理・手順、暗号、家系図</li> <li>13 折り紙、回転の軌跡、正多面体、展開図</li> <li>14 平面図形の構成、サイコロ</li> <li>15 見取り図と投影図、積木、立体の切断、回転体、一筆書き</li> <li>16 平面図形の計量 1</li> <li>17 平面図形の計量 2</li> <li>18 平面図形の計量 3、立体図形の計量</li> <li>19 資料解釈 実数・割合、構成比</li> <li>20 資料解釈 指数、増加率</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ⅱ 社会科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	28時間(1単位)
授業コマ数	14コマ(1コマ120分)
授業概要	政治・経済の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	公務に必要な社会科学分野の基礎知識を定着させる
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 政治の基本理念、政治制度論</li> <li>2 基本的人権①</li> <li>3 基本的人権②</li> <li>4 基本的人権③</li> <li>5 国会の機構と運営</li> <li>6 内閣の機構と運営</li> <li>7 裁判所の機構と運営</li> <li>8 地方自治、選挙制度</li> <li>9 現代の企業、現代の市場</li> <li>10 国民所得</li> <li>11 通貨制度と金融政策</li> <li>12 財政制度と財政政策</li> <li>13 貿易と外国為替</li> <li>14 国際経済の動向</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	28時間(1単位)	
授業コマ数	14コマ(1コマ120分)	
授業概要	地理・歴史の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な人文科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	平安時代
	2	鎌倉時代
	3	室町時代
	4	江戸時代(前半)
	5	江戸時代(後半)
	6	明治
	7	大正
	8	昭和
	9	世界の地形
	10	世界の気候
	11	世界の農業
	12	世界の工業・資源
	13	日本地誌
	14	世界地誌
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ⅳ 自然科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	20時間(1単位)
授業コマ数	10コマ(1コマ120分)
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識を定着させる
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生体の構造、生体内の代謝</li> <li>2 生体内の代謝</li> <li>3 生体内の代謝、生殖と発生、遺伝と変異</li> <li>4 遺伝と変異、刺激の受容と反応</li> <li>5 刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調整</li> <li>6 内部環境の恒常性と調整、生物の集団、生物の進化と系統</li> <li>7 地球の姿と動く大地</li> <li>8 岩石、大気と海洋</li> <li>9 大気と海洋、太陽系と宇宙の構造</li> <li>10 太陽系と宇宙の構造、地球と人類</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	情報処理基礎	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間(4単位)	
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)	
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 基礎理論① 2 基礎理論② 3 基礎理論③ 4 アルゴリズムとプログラミング① 5 アルゴリズムとプログラミング② 6 アルゴリズムとプログラミング③ 7 アルゴリズムとプログラミング④ 8 コンピュータ構成要素、システム構成要素① 9 コンピュータ構成要素、システム構成要素② 10 コンピュータ構成要素、システム構成要素③ 11 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース① 12 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース② 13 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース③ 14 ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインターフェース④ 15 マルチメディア、データベース① 16 マルチメディア、データベース② 17 マルチメディア、データベース③ 18 マルチメディア、データベース④ 19 マルチメディア、データベース⑤ 20 マルチメディア、データベース⑥ 21 ネットワーク① 22 ネットワーク② 23 ネットワーク③ 24 ネットワーク④ 25 ネットワーク⑤ 26 ネットワーク⑥ 27 セキュリティ① 28 セキュリティ② 29 セキュリティ③ 30 セキュリティ④	31 セキュリティ⑤ 32 企業活動① 33 企業活動② 34 企業活動③ 35 法務① 36 法務② 37 法務③ 38 経営戦略マネジメント① 39 経営戦略マネジメント② 40 経営戦略マネジメント③ 41 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ① 42 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ② 43 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ③ 44 技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ④ 45 システム戦略、システム企画① 46 システム戦略、システム企画② 47 システム戦略、システム企画③ 48 システム戦略、システム企画④ 49 システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術① 50 システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術② 51 システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術③ 52 システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術④ 53 プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント① 54 プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント② 55 プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント③ 56 プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント④ 57 システム監査① 58 システム監査② 59 システム監査③ 60 システム監査④
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プレゼンテーションの作成①</li> <li>2 プレゼンテーションの作成②</li> <li>3 スライドの挿入、書式設定①</li> <li>4 スライドの挿入、書式設定②</li> <li>5 配布資料、ノートの変更①</li> <li>6 配布資料、ノートの変更②</li> <li>7 配布資料、ノートの変更③</li> <li>8 スライドの並び替え、グループ化①</li> <li>9 スライドの並び替え、グループ化②</li> <li>10 スライドの並び替え、グループ化③</li> <li>11 オプションの変更①</li> <li>12 オプションの変更②</li> <li>13 オプションの変更③</li> <li>14 スライドショーの設定、実行①</li> <li>15 スライドショーの設定、実行②</li> <li>16 スライドショーの設定、実行③</li> <li>17 テキストの挿入、書式設定①</li> <li>18 テキストの挿入、書式設定②</li> <li>19 テキストの挿入、書式設定③</li> <li>20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定①</li> <li>21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定②</li> <li>22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③</li> <li>23 図の挿入、書式設定①</li> <li>24 図の挿入、書式設定②</li> <li>25 図の挿入、書式設定③</li> <li>26 図の挿入、書式設定④</li> <li>27 図形の並び替え、グループ化①</li> <li>28 図形の並び替え、グループ化②</li> <li>29 図形の並び替え、グループ化③</li> <li>30 図形の並び替え、グループ化④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Power Point応用
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 表の挿入、設定</li> <li>2 グラフの挿入、書式設定①</li> <li>3 グラフの挿入、書式設定②</li> <li>4 SmartArtの挿入、書式設定①</li> <li>5 SmartArtの挿入、書式設定②</li> <li>6 メディアの挿入、管理①</li> <li>7 メディアの挿入、管理②</li> <li>8 画面切り替えの設定①</li> <li>9 画面切り替えの設定②</li> <li>10 アニメーションの設定①</li> <li>11 アニメーションの設定②</li> <li>12 複数のコンテンツの結合①</li> <li>13 複数のコンテンツの結合②</li> <li>14 プレゼンテーションの保護、共有①</li> <li>15 プレゼンテーションの保護、共有②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Word基礎	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間(2単位)	
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文章の作成①
	2	文章の作成②
	3	文章内の移動①
	4	文章内の移動②
	5	文章の書式設定①
	6	文章の書式設定②
	7	文章の書式設定③
	8	文章の書式設定④
	9	オプションの設定、表示のカスタマイズ①
	10	オプションの設定、表示のカスタマイズ②
	11	オプションの設定、表示のカスタマイズ③
	12	オプションの設定、表示のカスタマイズ④
	13	文章の印刷、保存①
	14	文章の印刷、保存②
	15	文章の印刷、保存③
	16	文章の印刷、保存④
	17	文字列・段落の挿入①
	18	文字列・段落の挿入②
	19	文字列・段落の挿入③
	20	文字列・段落の挿入④
	21	文字列・段落の書式設定①
	22	文字列・段落の書式設定②
	23	文字列・段落の書式設定③
	24	文字列・段落の書式設定④
	25	文字列・段落の書式設定⑤
	26	文字列・段落の並び替え、グループ化①
	27	文字列・段落の並び替え、グループ化②
	28	文字列・段落の並び替え、グループ化③
	29	文字列・段落の並び替え、グループ化④
	30	文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Word応用
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 表の作成</li> <li>2 表の変更①</li> <li>3 表の変更②</li> <li>4 リストの作成、変更①</li> <li>5 リストの作成、変更②</li> <li>6 参照のための情報・記号の作成、管理①</li> <li>7 参照のための情報・記号の作成、管理②</li> <li>8 標準の参考資料作成、管理①</li> <li>9 標準の参考資料作成、管理②</li> <li>10 グラフィック要素の挿入①</li> <li>11 グラフィック要素の挿入②</li> <li>12 グラフィック要素の書式設定①</li> <li>13 グラフィック要素の書式設定②</li> <li>14 SmartArtの挿入、書式設定①</li> <li>15 SmartArtの挿入、書式設定②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ネットビジネス基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	ネットショップ事務の共通知識、制作・運用に必要な知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	eコマース業界における全体像の基本的な知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ビジネスショップのビジネス環境①</li> <li>2 ビジネスショップのビジネス環境②</li> <li>3 ビジネスショップのビジネス環境③</li> <li>4 ビジネスショップのビジネス環境④</li> <li>5 ビジネスショップのビジネス環境⑤</li> <li>6 小売業の分類と特徴①</li> <li>7 小売業の分類と特徴②</li> <li>8 小売業の分類と特徴③</li> <li>9 小売業の分類と特徴④</li> <li>10 小売業の分類と特徴⑤</li> <li>11 ネットショップの位置づけ①</li> <li>12 ネットショップの位置づけ②</li> <li>13 ネットショップの位置づけ③</li> <li>14 ネットショップの位置づけ④</li> <li>15 ネットショップの位置づけ⑤</li> <li>16 ネットショップの動向①</li> <li>17 ネットショップの動向②</li> <li>18 ネットショップの動向③</li> <li>19 ネットショップの動向④</li> <li>20 ネットショップの動向⑤</li> <li>21 ネットショップの出店形態と特徴①</li> <li>22 ネットショップの出店形態と特徴②</li> <li>23 ネットショップの出店形態と特徴③</li> <li>24 ネットショップの出店形態と特徴④</li> <li>25 ネットショップの出店形態と特徴⑤</li> <li>26 ネットショップ事務の共通知識①</li> <li>27 ネットショップ事務の共通知識②</li> <li>28 ネットショップ事務の共通知識③</li> <li>29 ネットショップ事務の共通知識④</li> <li>30 ネットショップ事務の共通知識⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営管理入門
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	社会の基本的な成り立ちや考え方・専門用語を理解する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	社会人として必要な会社の仕組み・専門用語を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 企業のライフステージ①</li> <li>2 企業のライフステージ②</li> <li>3 経営理念と経営戦略①</li> <li>4 経営理念と経営戦略②</li> <li>5 経営企画の必要性、事業承継①</li> <li>6 経営企画の必要性、事業承継②</li> <li>7 中小企業の資金調達①</li> <li>8 中小企業の資金調達②</li> <li>9 企業を取り巻くリスク①</li> <li>10 企業を取り巻くリスク②</li> <li>11 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析①</li> <li>12 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析②</li> <li>13 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析③</li> <li>14 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析④</li> <li>15 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析⑤</li> <li>16 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析⑥</li> <li>17 利益管理、予算管理①</li> <li>18 利益管理、予算管理②</li> <li>19 企業形態としての会社、株式会社の機関①</li> <li>20 企業形態としての会社、株式会社の機関②</li> <li>21 株式の譲渡と相続、株主総会①</li> <li>22 株式の譲渡と相続、株主総会②</li> <li>23 取締役、代表取締役、取締役会①</li> <li>24 取締役、代表取締役、取締役会②</li> <li>25 会社の事業の拡大と整理①</li> <li>26 会社の事業の拡大と整理②</li> <li>27 コンプライアンス経営の実践①</li> <li>28 コンプライアンス経営の実践②</li> <li>29 募集・採用、勤怠管理、退職・解雇①</li> <li>30 募集・採用、勤怠管理、退職・解雇②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション概論
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループディスカッションとは①</li> <li>2 グループディスカッションとは②</li> <li>3 グループディスカッションの役割①</li> <li>4 グループディスカッションの役割②</li> <li>5 抽象テーマ型グループディスカッション①</li> <li>6 抽象テーマ型グループディスカッション②</li> <li>7 抽象テーマ型グループディスカッション③</li> <li>8 課題解決型グループディスカッション①</li> <li>9 課題解決型グループディスカッション②</li> <li>10 課題解決型グループディスカッション③</li> <li>11 KJ法①</li> <li>12 KJ法②</li> <li>13 資料読み取り型グループディスカッション①</li> <li>14 資料読み取り型グループディスカッション②</li> <li>15 資料読み取り型グループディスカッション③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務入門 I
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30 時間 (1 単位)
授業コマ数	15 コマ (1 コマ 90 分)
授業概要	働くうえで備えておくべき基本的な心構えや一般知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	基本的な職場常識・職務の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	企業人としてオフィスワークの経験のある教員が、企業内での基本的な心構え、ビジネスマナーについて教育を行う科目
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 職場での心構え①</li> <li>2 職場での心構え②</li> <li>3 職場に必要な能力①</li> <li>4 職場に必要な能力②</li> <li>5 職場の役割と機能①</li> <li>6 職場の役割と機能②</li> <li>7 秘書の職務①</li> <li>8 秘書の職務②</li> <li>9 企業の基礎知識①</li> <li>10 企業の基礎知識②</li> <li>11 企業組織の活動①</li> <li>12 企業組織の活動②</li> <li>13 社会常識①</li> <li>14 社会常識②</li> <li>15 社会常識③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務応用 I
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60 時間 (2 単位)
授業コマ数	30 コマ (1 コマ 90 分)
授業概要	職場でのマナー・技能を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	職場での電話応対・来客対応、ビジネス文書作成の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	企業人としてオフィスワークの経験のある教員が、企業内での基本的な心構え、ビジネスマナーについてロールプレイングを中心に教育を行う科目
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人間関係と話し方・聞き方①</li> <li>2 人間関係と話し方・聞き方②</li> <li>3 人間関係と話し方・聞き方③</li> <li>4 人間関係と話し方・聞き方④</li> <li>5 敬語と接遇用語①</li> <li>6 敬語と接遇用語②</li> <li>7 敬語と接遇用語③</li> <li>8 敬語と接遇用語④</li> <li>9 電話応対①</li> <li>10 電話応対②</li> <li>11 電話応対③</li> <li>12 電話応対④</li> <li>13 来客応対①</li> <li>14 来客応対②</li> <li>15 来客応対③</li> <li>16 交際業務①</li> <li>17 交際業務②</li> <li>18 ビジネス文書の作成①</li> <li>19 ビジネス文書の作成②</li> <li>20 ビジネス文書の作成③</li> <li>21 ビジネス文書の作成④</li> <li>22 文書・資料管理①</li> <li>23 文書・資料管理②</li> <li>24 文書・資料管理③</li> <li>25 日程管理①</li> <li>26 日程管理②</li> <li>27 日程管理③</li> <li>28 日程管理④</li> <li>29 環境整備①</li> <li>30 環境整備②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	秘書検定総合
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	秘書としての考え方、職務知識、マナー・接遇について体系的に学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	秘書検定に合格できるレベルの理論・実技の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会人に必要な自覚と心構え、秘書に求められる人柄</li> <li>2 秘書に求められる能力</li> <li>3 秘書の役割・機能、職務内容</li> <li>4 一般知識</li> <li>5 報告・説明の仕方</li> <li>6 敬語の用法</li> <li>7 電話応対①</li> <li>8 電話応対②</li> <li>9 来客応対①</li> <li>10 来客応対②</li> <li>11 社内文章・社外文章①</li> <li>12 社内文章・社外文章②</li> <li>13 メール・郵便・書類整理の知識①</li> <li>14 メール・郵便・書類整理の知識②</li> <li>15 出張の注意点・オフィスの環境作り</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30 時間 (1 単位)
授業コマ数	15 コマ (1 コマ 90 分)
授業概要	事務職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事務職に適したスーツの着こなし</li> <li>2 事務職に適した身だしなみ</li> <li>3 敬語の使い方</li> <li>4 事務職で良く聞かれる質疑応答①</li> <li>5 事務職で良く聞かれる質疑応答②</li> <li>6 筆記試験とは (一般常識試験) ①</li> <li>7 筆記試験とは (一般常識試験) ②</li> <li>8 筆記試験とは (適性検査試験) ①</li> <li>9 筆記試験とは (適性検査試験) ②</li> <li>10 作文の目的・形式と内容①</li> <li>11 作文の目的・形式と内容②</li> <li>12 作文の実践テクニック①</li> <li>13 作文の実践テクニック②</li> <li>14 作文の実践テクニック③</li> <li>15 作文の実践テクニック④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	事務職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 仕事選びの基準</li> <li>2 求人票からの情報収集</li> <li>3 会社四季報、新聞からの情報収集①</li> <li>4 会社四季報、新聞からの情報収集②</li> <li>5 総合職と一般職</li> <li>6 事務職職種研究①</li> <li>7 事務職職種研究②</li> <li>8 事務職職種研究③</li> <li>9 事務職職種研究④</li> <li>10 事務職職種研究⑤</li> <li>11 事務職への志望理由①</li> <li>12 事務職への志望理由②</li> <li>13 事務職への志望理由③</li> <li>14 事務職への志望理由④</li> <li>15 事務職への志望理由⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識基礎	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間(3単位)	
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)	
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	企業人として販売・接客の職場経験のある教員が、店舗内での基本的な心構え、店舗管理、マーケティング、お客様への接し方について教育を行う科目	
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③	31 商業集積④ 32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 小売業のマーケティング② 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識応用	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間(3単位)	
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)	
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	企業人として販売・接客の職場経験のある教員が、店舗内での基本的な心構え、店舗管理、マーケティング、お客様への接し方についてロールプレイング、商品企画・開発を趣味レーションの仕方などの教育を行う科目	
授業計画	1 証券の設定と出店① 2 証券の設定と出店② 3 証券の設定と出店③ 4 リージョナルプロモーション① 5 リージョナルプロモーション② 6 リージョナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥ 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディスプレイ① 20 ディスプレイ② 21 ディスプレイ③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥	31 商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅠ
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	販売・接客・企画職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	企業人として販売・接客の職場経験のある教員が、小売業などでの就職活動に関して必要な知識、スキルについて教育を行う科目
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 販売・接客・企画職に適したスーツの着こなし</li> <li>2 販売・接客・企画職に適した身だしなみ</li> <li>3 敬語の使い方</li> <li>4 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答①</li> <li>5 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答②</li> <li>6 筆記試験とは(一般常識試験)①</li> <li>7 筆記試験とは(一般常識試験)②</li> <li>8 筆記試験とは(適性検査試験)①</li> <li>9 筆記試験とは(適性検査試験)②</li> <li>10 作文の目的・形式と内容①</li> <li>11 作文の目的・形式と内容②</li> <li>12 作文の実践テクニック①</li> <li>13 作文の実践テクニック②</li> <li>14 作文の実践テクニック③</li> <li>15 作文の実践テクニック④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅡ
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	販売・接客・企画職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	企業人として販売・接客の職場経験のある教員が、小売業などでの就職活動に関して必要な知識、スキルについてロールプレイング、模擬練習を実施を行い、志望動機を作り上げる教育を行う科目
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 仕事選びの基準</li> <li>2 求人票からの情報収集</li> <li>3 会社四季報、新聞からの情報収集①</li> <li>4 会社四季報、新聞からの情報収集②</li> <li>5 総合職と一般職</li> <li>6 販売・接客・企画職職種研究①</li> <li>7 販売・接客・企画職職種研究②</li> <li>8 販売・接客・企画職職種研究③</li> <li>9 販売・接客・企画職職種研究④</li> <li>10 販売・接客・企画職職種研究⑤</li> <li>11 販売・接客・企画職への志望理由①</li> <li>12 販売・接客・企画職への志望理由②</li> <li>13 販売・接客・企画職への志望理由③</li> <li>14 販売・接客・企画職への志望理由④</li> <li>15 販売・接客・企画職への志望理由⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己分析 1</li> <li>2 自己分析 2</li> <li>3 自己分析 3</li> <li>4 自己PR考察 1</li> <li>5 自己PR考察 2</li> <li>6 職種研究 1</li> <li>7 職種研究 2</li> <li>8 職種研究 3</li> <li>9 志望動機整理 1</li> <li>10 志望動機整理 2</li> <li>11 模擬集団面接 1</li> <li>12 模擬集団面接 2</li> <li>13 模擬集団面接 3</li> <li>14 集団討論レクチャー</li> <li>15 模擬集団討論</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ(1コマ120分)	
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ビジネスマナーの基礎知識
	2	身だしなみと立ち居振る舞い
	3	敬語とビジネス用語
	4	応接・接遇のマナー
	5	電話応対基礎編(講義)
	6	電話応対基礎編(練習)
	7	電話応対基礎編(実践練習)
	8	電話応対応用編(講義)
	9	電話応対応用編(練習)
	10	電話応対応用編(実践練習)
	11	模擬効果測定準備
	12	模擬効果測定
	13	模擬効果測定結果検証
	14	伝言を含む電話応対(講義1)
	15	伝言を含む電話応対(練習1)
	16	伝言を含む電話応対(講義2)
	17	伝言を含む電話応対(練習2)
	18	伝言を含む電話応対(実践練習1)
	19	伝言を含む電話応対(実践練習2)
	20	第1回効果測定準備1
	21	第1回効果測定準備2
	22	第1回効果測定
	23	第2回効果測定準備
	24	第2回効果測定
	25	第3回効果測定準備
	26	第3回効果測定
	27	冠婚葬祭のマナー
	28	郵便のマナー
	29	電話での道案内
	30	クレーム対応
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定で評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習 I
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCEL等の操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 WORDの基本操作 1</li> <li>2 WORDの基本操作 2</li> <li>3 WORDの基本操作 3</li> <li>4 WORDの基本操作 4</li> <li>5 WORDの基本操作 5</li> <li>6 WORD効果測定</li> <li>7 EXCEL基本操作 1</li> <li>8 EXCEL基本操作 2</li> <li>9 EXCEL基本操作 3</li> <li>10 EXCEL基本操作 4</li> <li>11 EXCEL基本操作 5</li> <li>12 EXCEL効果測定</li> <li>13 POWERPOINTの基本操作 1</li> <li>14 POWERPOINTの基本操作 2</li> <li>15 POWERPOINTの基本操作 3</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定で評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ⅲ 東洋史・近代史
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	16時間
授業コマ数	8コマ(1コマ120分)
授業概要	中国・朝鮮半島の歴代王朝と第2次世界大戦以降の世界史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な近隣国および近代歴史の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 殷、周、秦、漢</li> <li>2 魏晋南北朝、隋、唐</li> <li>3 宋、元</li> <li>4 明、清</li> <li>5 清の崩壊</li> <li>6 ヴェルサイユ体制</li> <li>7 第二次世界大戦</li> <li>8 第二次世界大戦後の世界</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ⅳ 古代史・西洋史
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	18時間
授業コマ数	9コマ(1コマ120分)
授業概要	古代およびヨーロッパ世界を中心とした世界の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な西欧社会の歴史の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 四大文明、古代ギリシャ、古代ローマ</li> <li>2 中世ヨーロッパ</li> <li>3 ルネサンス、大航海時代、宗教改革</li> <li>4 絶対主義</li> <li>5 イギリス市民革命、アメリカ独立革命</li> <li>6 フランス革命</li> <li>7 ウィーン体制</li> <li>8 19世紀のヨーロッパ</li> <li>9 第一次世界大戦</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学V 倫理・文学・芸術
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	16時間
授業コマ数	8コマ(1コマ120分)
授業概要	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な倫理・芸術・文学の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 古代ギリシャの思想家、経験論・合理論・観念論</li> <li>2 功利主義、プラグマティズム、実存主義</li> <li>3 日本の思想家、諸子百家</li> <li>4 西洋美術</li> <li>5 西洋文学</li> <li>6 西洋音楽、西洋建築</li> <li>7 江戸時代までの日本文学</li> <li>8 明治時代以降の日本文学</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅲ 物理	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業コマ数	8コマ(1コマ120分)	
授業概要	基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを知る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現、力
	2	運動方程式、エネルギー
	3	運動量
	4	熱
	5	波動
	6	電気
	7	電気と磁力
	8	原子
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	基礎自然科学Ⅳ 化学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	16時間
授業コマ数	8コマ(1コマ120分)
授業概要	物質の仕組みや物質の変化を知識として深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	化学反応現象を、反応式で捉えられるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 物質の構造</li> <li>2 化学結合</li> <li>3 物質の状態1</li> <li>4 物質の状態2</li> <li>5 酸化と還元</li> <li>6 無機化合物</li> <li>7 有機化合物</li> <li>8 生活と環境の化学</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	基礎数学 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ (1 コマ 1 2 0 分)	
授業概要	基本的な数学計算の能力を身に着け、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	数と式、二次方程式を中心に、基礎的な知識と計算技術を身に着ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数と式
	2	方程式
	3	関数
	4	微分積分
	5	式と図形、不等式と領域
	6	指数、対数
	7	三角関数、ベクトル
	8	数と体系
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習 I
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	4 8 時間
授業コマ数	2 4 コマ (1 コマ 1 2 0 分)
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	基礎的な内容に一部実践的な問題を加えた50題の模擬試験で30点以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎的なレベルの模擬試験①</li> <li>2 春実施の本試験タイプの模擬試験①</li> <li>3 春実施の本試験タイプの模擬試験②</li> <li>4 一部応用レベルの問題を含む模擬試験①</li> <li>5 模擬試験の解説 (知能系科目)</li> <li>6 模擬試験の解説 (知識系科目)</li> <li>7 一部応用レベルの問題を含む模擬試験②</li> <li>8 模擬試験の解説 (知能系科目)</li> <li>9 模擬試験の解説 (知識系科目)</li> <li>10 一部応用レベルの問題を含む模擬試験③</li> <li>11 模擬試験の解説 (知能系科目)</li> <li>12 模擬試験の解説 (知識系科目)</li> <li>13 一部応用レベルの問題を含む模擬試験④</li> <li>14 模擬試験の解説 (知能系科目)</li> <li>15 模擬試験の解説 (知識系科目)</li> <li>16 実戦レベルの問題を含む模擬試験①</li> <li>17 模擬試験の解説 (知能系科目)</li> <li>18 模擬試験の解説 (知識系科目)</li> <li>19 実戦レベルの問題を含む模擬試験②</li> <li>20 模擬試験の解説 (知能系科目)</li> <li>21 模擬試験の解説 (知識系科目)</li> <li>22 実戦レベルの問題を含む模擬試験③</li> <li>23 模擬試験の解説 (知能系科目)</li> <li>24 模擬試験の解説 (知識系科目)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	1 8 0 時間 ( 6 単位)	
授業コマ数	9 0 コマ ( 1 コマ 1 2 0 分)	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1 国家公務員タイプの模擬試験 1 2 模擬試験の解説 (知能系科目) 3 模擬試験の解説 (知識系科目) 4 国家公務員タイプの模擬試験 2 5 模擬試験の解説 (知能系科目) 6 模擬試験の解説 (知識系科目) 7 国家公務員タイプの模擬試験 3 8 模擬試験の解説 (知能系科目) 9 模擬試験の解説 (知識系科目) 10 国家公務員タイプの模擬試験 4 11 模擬試験の解説 (知能系科目) 12 模擬試験の解説 (知識系科目) 13 国家公務員タイプの模擬試験 5 14 模擬試験の解説 (知能系科目) 15 模擬試験の解説 (知識系科目) 16 国家公務員タイプの模擬試験 6 17 模擬試験の解説 (知能系科目) 18 模擬試験の解説 (知識系科目) 19 国家公務員タイプの模擬試験 7 20 模擬試験の解説 (知能系科目) 21 模擬試験の解説 (知識系科目) 22 国家公務員タイプの模擬試験 8 23 模擬試験の解説 (知能系科目) 24 模擬試験の解説 (知識系科目) 25 国家公務員タイプの模擬試験 9 26 模擬試験の解説 (知能系科目) 27 模擬試験の解説 (知識系科目) 28 国家公務員タイプの模擬試験 10 29 模擬試験の解説 (知能系科目) 30 模擬試験の解説 (知識系科目) 31 国家公務員タイプの模擬試験 11 32 模擬試験の解説 (知能系科目) 33 模擬試験の解説 (知識系科目) 34 国家公務員タイプの模擬試験 12 35 模擬試験の解説 (知能系科目) 36 模擬試験の解説 (知識系科目) 37 国家公務員タイプの模擬試験 13 38 模擬試験の解説 (知能系科目) 39 模擬試験の解説 (知識系科目) 40 国家公務員タイプの模擬試験 14 41 模擬試験の解説 (知能系科目) 42 模擬試験の解説 (知識系科目) 43 国家公務員タイプの模擬試験 15 44 模擬試験の解説 (知能系科目) 45 模擬試験の解説 (知識系科目)	46 国家公務員タイプの模擬試験 16 47 模擬試験の解説 (知能系科目) 48 模擬試験の解説 (知識系科目) 49 国家公務員タイプの模擬試験 17 50 模擬試験の解説 (知能系科目) 51 模擬試験の解説 (知識系科目) 52 国家公務員タイプの模擬試験 18 53 模擬試験の解説 (知能系科目) 54 模擬試験の解説 (知識系科目) 55 国家公務員タイプの模擬試験 19 56 模擬試験の解説 (知能系科目) 57 模擬試験の解説 (知識系科目) 58 国家公務員タイプの模擬試験 20 59 模擬試験の解説 (知能系科目) 60 模擬試験の解説 (知識系科目) 61 国家公務員タイプの模擬試験 21 62 模擬試験の解説 (知能系科目) 63 模擬試験の解説 (知識系科目) 64 国家公務員タイプの模擬試験 22 65 模擬試験の解説 (知能系科目) 66 模擬試験の解説 (知識系科目) 67 国家公務員タイプの模擬試験 23 68 模擬試験の解説 (知能系科目) 69 模擬試験の解説 (知識系科目) 70 国家公務員タイプの模擬試験 24 71 模擬試験の解説 (知能系科目) 72 模擬試験の解説 (知識系科目) 73 国家公務員タイプの模擬試験 25 74 模擬試験の解説 (知能系科目) 75 模擬試験の解説 (知識系科目) 76 国家公務員タイプの模擬試験 26 77 模擬試験の解説 (知能系科目) 78 模擬試験の解説 (知識系科目) 79 国家公務員タイプの模擬試験 27 80 模擬試験の解説 (知能系科目) 81 模擬試験の解説 (知識系科目) 82 国家公務員タイプの模擬試験 28 83 模擬試験の解説 (知能系科目) 84 模擬試験の解説 (知識系科目) 85 国家公務員タイプの模擬試験 29 86 模擬試験の解説 (知能系科目) 87 模擬試験の解説 (知識系科目) 88 国家公務員タイプの模擬試験 30 89 模擬試験の解説 (知能系科目) 90 模擬試験の解説 (知識系科目)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験 100% 模擬試験における得点で評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	102時間	
授業コマ数	51コマ(1コマ120分)	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1 地方公務員タイプの模擬試験 1 2 模擬試験の解説 (知能系科目) 3 模擬試験の解説 (知識系科目) 4 地方公務員タイプの模擬試験 2 5 模擬試験の解説 (知能系科目) 6 模擬試験の解説 (知識系科目) 7 地方公務員タイプの模擬試験 3 8 模擬試験の解説 (知能系科目) 9 模擬試験の解説 (知識系科目) 10 地方公務員タイプの模擬試験 4 11 模擬試験の解説 (知能系科目) 12 模擬試験の解説 (知識系科目) 13 地方公務員タイプの模擬試験 5 14 模擬試験の解説 (知能系科目) 15 模擬試験の解説 (知識系科目) 16 地方公務員タイプの模擬試験 6 17 模擬試験の解説 (知能系科目) 18 模擬試験の解説 (知識系科目) 19 地方公務員タイプの模擬試験 7 20 模擬試験の解説 (知能系科目) 21 模擬試験の解説 (知識系科目) 22 地方公務員タイプの模擬試験 8 23 模擬試験の解説 (知能系科目) 24 模擬試験の解説 (知識系科目) 25 地方公務員タイプの模擬試験 9 26 模擬試験の解説 (知能系科目) 27 模擬試験の解説 (知識系科目) 28 地方公務員タイプの模擬試験 10 29 模擬試験の解説 (知能系科目) 30 模擬試験の解説 (知識系科目)	31 地方公務員タイプの模擬試験 11 32 模擬試験の解説 (知能系科目) 33 模擬試験の解説 (知識系科目) 34 地方公務員タイプの模擬試験 12 35 模擬試験の解説 (知能系科目) 36 模擬試験の解説 (知識系科目) 37 地方公務員タイプの模擬試験 13 38 模擬試験の解説 (知能系科目) 39 模擬試験の解説 (知識系科目) 40 地方公務員タイプの模擬試験 14 41 模擬試験の解説 (知能系科目) 42 模擬試験の解説 (知識系科目) 43 地方公務員タイプの模擬試験 15 44 模擬試験の解説 (知能系科目) 45 模擬試験の解説 (知識系科目) 46 地方公務員タイプの模擬試験 16 47 模擬試験の解説 (知能系科目) 48 模擬試験の解説 (知識系科目) 49 地方公務員タイプの模擬試験 17 50 模擬試験の解説 (知能系科目) 51 模擬試験の解説 (知識系科目)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地方公務員タイプの模擬試験1</li> <li>2 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>3 模擬試験の解説(知識系科目)</li> <li>4 地方公務員タイプの模擬試験2</li> <li>5 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>6 模擬試験の解説(知識系科目)</li> <li>7 地方公務員タイプの模擬試験3</li> <li>8 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>9 模擬試験の解説(知識系科目)</li> <li>10 地方公務員タイプの模擬試験4</li> <li>11 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>12 模擬試験の解説(知識系科目)</li> <li>13 地方公務員タイプの模擬試験5</li> <li>14 模擬試験の解説(知能系科目)</li> <li>15 模擬試験の解説(知識系科目)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする</p>



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員時事対策
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ
授業の進め方	1項目15分程度で、重要ワードを軸にその内容を解説し、問題演習を行う
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 時事(政治分野1) 2 時事(政治分野2) 3 時事(政治分野3) 4 時事(経済分野1) 5 時事(経済分野2) 6 時事(文化1) 7 時事(文化2) 8 時事(文化3) 9 時事(科学1) 10 時事(科学2) 11 時事(科学3) 12 時事(科学4) 13 時事(科学5) 14 時事(国際問題1) 15 時事(国際問題2)
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容																																													
授業科目	公務員時事研究																																													
実務家教員																																														
学部・学科	公務員学科2年制																																													
履修年次	2年次																																													
開講学期	後期																																													
科目区分	選択																																													
授業方法	演習																																													
授業時間	30時間																																													
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)																																													
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する																																													
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる																																													
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける																																													
教科書	なし																																													
特記																																														
授業計画	<table border="1"> <tbody> <tr><td>1</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ1</td></tr> <tr><td>2</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ2</td></tr> <tr><td>3</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ3</td></tr> <tr><td>4</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ4</td></tr> <tr><td>5</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ5</td></tr> <tr><td>6</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ6</td></tr> <tr><td>7</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ7</td></tr> <tr><td>8</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ8</td></tr> <tr><td>9</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ9</td></tr> <tr><td>10</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ10</td></tr> <tr><td>11</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ11</td></tr> <tr><td>12</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ12</td></tr> <tr><td>13</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ13</td></tr> <tr><td>14</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ14</td></tr> <tr><td>15</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ15</td></tr> </tbody> </table>	1	情報収集と考察	テーマ1	2	情報収集と考察	テーマ2	3	情報収集と考察	テーマ3	4	情報収集と考察	テーマ4	5	情報収集と考察	テーマ5	6	情報収集と考察	テーマ6	7	情報収集と考察	テーマ7	8	情報収集と考察	テーマ8	9	情報収集と考察	テーマ9	10	情報収集と考察	テーマ10	11	情報収集と考察	テーマ11	12	情報収集と考察	テーマ12	13	情報収集と考察	テーマ13	14	情報収集と考察	テーマ14	15	情報収集と考察	テーマ15
1	情報収集と考察	テーマ1																																												
2	情報収集と考察	テーマ2																																												
3	情報収集と考察	テーマ3																																												
4	情報収集と考察	テーマ4																																												
5	情報収集と考察	テーマ5																																												
6	情報収集と考察	テーマ6																																												
7	情報収集と考察	テーマ7																																												
8	情報収集と考察	テーマ8																																												
9	情報収集と考察	テーマ9																																												
10	情報収集と考察	テーマ10																																												
11	情報収集と考察	テーマ11																																												
12	情報収集と考察	テーマ12																																												
13	情報収集と考察	テーマ13																																												
14	情報収集と考察	テーマ14																																												
15	情報収集と考察	テーマ15																																												
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物の内容を評価																																													
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする																																													

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数		
授業概要	秋試験10職種に向けた面接指導を行う	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1 受験職種研究1 (職種①) 2 受験職種研究2 (職種①) 3 受験職種研究3 (職種①) 4 模擬個人面接1 (職種①) 5 模擬個人面接2 (職種①) 6 模擬個人面接3 (職種①) 7 受験職種研究4 (職種②) 8 受験職種研究5 (職種②) 9 受験職種研究6 (職種②) 10 模擬個人面接4 (職種②) 11 模擬個人面接5 (職種②) 12 模擬個人面接6 (職種②) 13 受験職種研究7 (職種③) 14 受験職種研究8 (職種③) 15 受験職種研究9 (職種③) 16 模擬個人面接7 (職種③) 17 模擬個人面接8 (職種③) 18 模擬個人面接9 (職種③) 19 受験職種研究10 (職種④) 20 受験職種研究11 (職種④) 21 受験職種研究12 (職種④) 22 模擬個人面接10 (職種④) 23 模擬個人面接11 (職種④) 24 模擬個人面接12 (職種④) 25 受験職種研究13 (職種⑤) 26 受験職種研究14 (職種⑤) 27 受験職種研究15 (職種⑤) 28 模擬個人面接13 (職種⑤) 29 模擬個人面接14 (職種⑤) 30 模擬個人面接15 (職種⑤)	31 受験職種研究16 (職種⑥) 32 受験職種研究17 (職種⑥) 33 受験職種研究18 (職種⑤) 34 模擬個人面接16 (職種⑤) 35 模擬個人面接17 (職種⑤) 36 模擬個人面接18 (職種⑤) 37 受験職種研究19 (職種⑦) 38 受験職種研究20 (職種⑦) 39 受験職種研究21 (職種⑦) 40 模擬個人面接19 (職種⑦) 41 模擬個人面接20 (職種⑦) 42 模擬個人面接21 (職種⑦) 43 受験職種研究22 (職種⑧) 44 受験職種研究23 (職種⑧) 45 受験職種研究24 (職種⑧) 46 模擬個人面接22 (職種⑧) 47 模擬個人面接23 (職種⑧) 48 模擬個人面接24 (職種⑧) 49 受験職種研究25 (職種⑨) 50 受験職種研究26 (職種⑨) 51 受験職種研究27 (職種⑨) 52 模擬個人面接25 (職種⑨) 53 模擬個人面接26 (職種⑨) 54 模擬個人面接27 (職種⑨) 55 受験職種研究28 (職種⑩) 56 受験職種研究29 (職種⑩) 57 受験職種研究30 (職種⑩) 58 模擬個人面接28 (職種⑩) 59 模擬個人面接29 (職種⑩) 60 模擬個人面接30 (職種⑩)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習 I
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60 時間
授業コマ数	30 コマ (1 コマ 120 分)
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 適性試験パターン 1 の解答方法</li> <li>2 適性試験パターン 1 の練習</li> <li>3 適性試験パターン 2 の解答方法</li> <li>4 適性試験パターン 2 の練習</li> <li>5 適性試験パターン 3 の解答方法</li> <li>6 適性試験パターン 3 の練習</li> <li>7 適性試験練習 1</li> <li>8 適性試験練習 2</li> <li>9 適性試験練習 3</li> <li>10 適性試験練習 4</li> <li>11 適性試験練習 5</li> <li>12 適性試験練習 6</li> <li>13 適性試験練習 7</li> <li>14 適性試験練習 8</li> <li>15 適性試験練習 9</li> <li>16 適性試験練習 10</li> <li>17 適性試験練習 11</li> <li>18 適性試験練習 12</li> <li>19 適性試験練習 13</li> <li>20 適性試験練習 14</li> <li>21 模擬試験 (適性試験) 1</li> <li>22 模擬試験 (適性試験) 2</li> <li>23 模擬試験 (適性試験) 3</li> <li>24 模擬試験 (適性試験) 4</li> <li>25 模擬試験 (適性試験) 5</li> <li>26 模擬試験 (適性試験) 6</li> <li>27 模擬試験 (適性試験) 7</li> <li>28 模擬試験 (適性試験) 8</li> <li>29 模擬試験 (適性試験) 9</li> <li>30 模擬試験 (適性試験) 10</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方</li> <li>2 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習1</li> <li>3 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習2</li> <li>4 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習3</li> <li>5 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習4</li> <li>6 作文練習1</li> <li>7 作文練習2</li> <li>8 作文練習3</li> <li>9 作文練習4</li> <li>10 作文練習5</li> <li>11 作文練習6</li> <li>12 作文練習7</li> <li>13 作文練習8</li> <li>14 作文練習9</li> <li>15 作文練習10</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公官庁講話
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ(1コマ120分)
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する
教科書	なし
特記	国家省庁、国家公安、地方行政、警察官、消防官など幅広い職種の現職公務員の実務経験に基づく講義
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 職種別の業務内容、試験内容に関する講義</li> <li>2 受験手続に関する講義</li> <li>3 職種別ガイダンス1</li> <li>4 職種別ガイダンス2</li> <li>5 職種別ガイダンス3</li> <li>6 日程別受験先選択の為の講義</li> <li>7 職種別ガイダンス4</li> <li>8 職種別ガイダンス5</li> <li>9 職種別ガイダンス6</li> <li>10 職種別ガイダンス7</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度などによって評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員倫理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ(1コマ120分、最終コマのみ60分です)
授業概要	現役の公務員を講師としてお招きし、公務員に関する法令や服務規程を学ぶ
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける
教科書	なし
特記	公官庁の研修を多く手掛ける労政事務所の職員による講義と演習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 公務員服務規程</li> <li>2 公務員関連の法令研究1</li> <li>3 公務員関連の法令研究2</li> <li>4 公務員服務規程の研究1</li> <li>5 公務員服務規程の研究2</li> <li>6 レポート作成</li> <li>7 レポート作成</li> <li>8 講評</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	提出レポートの完成度によって評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ボランティアの基礎知識</li> <li>2 自治体とボランティア</li> <li>3 ボランティア実体験①</li> <li>4 ボランティア実体験②</li> <li>5 ボランティア実体験③</li> <li>6 ボランティア実体験④</li> <li>7 ボランティア実体験⑤</li> <li>8 ボランティア実体験⑥</li> <li>9 ボランティア実体験⑦</li> <li>10 ボランティア実体験⑧</li> <li>11 ボランティア実体験⑨</li> <li>12 ボランティア実体験⑩</li> <li>13 ボランティア実体験⑪</li> <li>14 ボランティア実体験⑫</li> <li>15 ボランティアレポート</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ120分）
授業概要	国家公務員法や税法に関する講義を受け、研究および発表を通じて業務の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	国家公務員法や税法の基礎知識を身に付け、グループの考えをまとめ発表する過程で組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	現役公務員（税務職員）の方から講話を聴き国家公務員法と税法への理解を深めた上でグループでレポートを作成し、プレゼンテーションをする科目
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 税法概論（講義）</li> <li>2 税と公務の考え方（講義）</li> <li>3 課題①の研究 1</li> <li>4 課題①の研究 2</li> <li>5 課題②の研究 1</li> <li>6 課題②の研究 2</li> <li>7 課題③の研究 1</li> <li>8 課題③の研究 2</li> <li>9 研究発表シナリオ作成 1</li> <li>10 研究発表シナリオ作成 2</li> <li>11 研究発表準備 1</li> <li>12 研究発表準備 2</li> <li>13 模擬プレゼンテーション</li> <li>14 研究発表プレゼンテーション</li> <li>15 研究発表プレゼンテーション</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評を基に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	行政研究
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ（1コマ120分）
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	防衛省職員による防災に関する実務経験を基にした講義と実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 災害対策の枠組み（講義）</li> <li>2 災害対策の実例（講義）</li> <li>3 課題研究1</li> <li>4 課題研究2</li> <li>5 課題研究3</li> <li>6 課題研究4</li> <li>7 課題研究5</li> <li>8 課題研究6</li> <li>9 研究発表シナリオ作成1</li> <li>10 研究発表シナリオ作成2</li> <li>11 研究発表準備1</li> <li>12 研究発表準備2</li> <li>13 模擬プレゼンテーション</li> <li>14 研究発表プレゼンテーション</li> <li>15 研究発表プレゼンテーション</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評を基に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	応用演習 I 数的処理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	2 4 時間
授業コマ数	1 2 コマ (1 コマ 1 2 0 分)
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	実戦問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 論理・集合の要素の個数</li> <li>2 順序・対応</li> <li>3 位置と方位・勝ち負け</li> <li>4 カード・ゲーム・嘘の発言・推理・手順・暗号</li> <li>5 折り紙・回転の軌跡・正多面体・展開図</li> <li>6 平面図形の構成・サイコロ・見取り図と投影図・積木</li> <li>7 立体の切断・回転体・一筆書き・平面図形の計量 1</li> <li>8 平面図形の計量 2・立体図形の計量</li> <li>9 方程式・不等式・整数・計算パズル</li> <li>10 割合と比・速さ</li> <li>11 仕事算・場合の数</li> <li>12 確率・資料解釈</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	応用演習Ⅱ 社会科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	28時間
授業コマ数	14コマ(1コマ120分)
授業概要	問題演習を通じ、政治・経済の応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野に関するより幅広い知識を習得する
教科書	実戦問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 政治の基本理念、政治制度論</li> <li>2 基本的人権①</li> <li>3 基本的人権②</li> <li>4 国会の機構と運営</li> <li>5 内閣の機構と運営</li> <li>6 地方自治、選挙制度</li> <li>7 現代の企業、現代の市場</li> <li>8 国民所得</li> <li>9 通貨制度と金融政策</li> <li>10 財政制度と財政政策</li> <li>11 貿易と外国為替</li> <li>12 国際経済の動向</li> <li>13 社会総合①</li> <li>14 社会総合②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	全ジャンルから100問を抜粋した試験を軸に、授業参加姿勢を含め総合的に評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	応用演習Ⅲ 人文科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	問題演習を通じ、地理・歴史の応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人文科学分野に関するより幅広い知識を習得する
教科書	実戦問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平安時代</li> <li>2 鎌倉時代</li> <li>3 室町時代</li> <li>4 江戸時代(前半)</li> <li>5 江戸時代(後半)</li> <li>6 明治時代</li> <li>7 大正時代、昭和時代</li> <li>8 世界の地形</li> <li>9 世界の気候</li> <li>10 世界の農業</li> <li>11 世界の資源</li> <li>12 世界の工業</li> <li>13 日本地誌</li> <li>14 世界地誌(アジア、アフリカ)</li> <li>15 世界地誌(ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア)</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	全ジャンルから100問を抜粋した試験を軸に、授業参加姿勢を含め総合的に評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	応用演習Ⅳ 自然科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	16時間
授業コマ数	8コマ(1コマ120分)
授業概要	問題演習を通じ、生物・地学の応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	自然科学分野に関するより幅広い知識を習得する
教科書	実戦問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生体の構造、生体内の代謝</li> <li>2 生殖と発生、遺伝と変異</li> <li>3 刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調節</li> <li>4 生物の集団、生物の進化と系統</li> <li>5 地球の姿と動く大地</li> <li>6 岩石</li> <li>7 大気と海洋</li> <li>8 太陽系と宇宙の構造、地球と人類</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	全ジャンルから100問を抜粋した試験を軸に、授業参加姿勢を含め総合的に評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	総合答案練習 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	8 4 時間	
授業コマ数	4 2 コマ ( 1 コマ 1 2 0 分)	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	基礎的な内容の50題の模擬試験で30点以上を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1 基礎的なレベルの模擬試験① 2 模擬試験の解説 (知能系科目) 3 模擬試験の解説 (知識系科目) 4 基礎的なレベルの模擬試験② 5 模擬試験の解説 (知能系科目) 6 模擬試験の解説 (知識系科目) 7 基礎的なレベルの模擬試験③ 8 模擬試験の解説 (知能系科目) 9 模擬試験の解説 (知識系科目) 10 基礎的なレベルの模擬試験④ 11 模擬試験の解説 (知能系科目) 12 模擬試験の解説 (知識系科目) 13 基礎的なレベルの模擬試験⑤ 14 模擬試験の解説 (知能系科目) 15 模擬試験の解説 (知識系科目) 16 基礎的なレベルの模擬試験⑥ 17 模擬試験の解説 (知能系科目) 18 模擬試験の解説 (知識系科目) 19 基礎的なレベルの模擬試験⑦ 20 模擬試験の解説 (知能系科目) 21 模擬試験の解説 (知識系科目) 22 基礎的なレベルの模擬試験⑧ 23 模擬試験の解説 (知能系科目) 24 模擬試験の解説 (知識系科目) 25 基礎的なレベルの模擬試験⑨ 26 模擬試験の解説 (知能系科目) 27 模擬試験の解説 (知識系科目) 28 基礎的なレベルの模擬試験⑩ 29 模擬試験の解説 (知能系科目) 30 模擬試験の解説 (知識系科目)	31 基礎的なレベルの模擬試験⑪ 32 模擬試験の解説 (知能系科目) 33 模擬試験の解説 (知識系科目) 34 基礎的なレベルの模擬試験⑫ 35 模擬試験の解説 (知能系科目) 36 模擬試験の解説 (知識系科目) 37 基礎的なレベルの模擬試験⑬ 38 模擬試験の解説 (知能系科目) 39 模擬試験の解説 (知識系科目) 40 基礎的なレベルの模擬試験⑭ 41 模擬試験の解説 (知能系科目) 42 模擬試験の解説 (知識系科目)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	総合答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	48時間
授業コマ数	24コマ(1コマ120分)
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	一部実践的な問題を加えた50題の模擬試験で30点以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 実戦レベルの問題を含む模擬試験① 2 模擬試験の解説(知能系科目) 3 模擬試験の解説(知識系科目) 4 実戦レベルの問題を含む模擬試験② 5 模擬試験の解説(知能系科目) 6 模擬試験の解説(知識系科目) 7 実戦レベルの問題を含む模擬試験③ 8 模擬試験の解説(知能系科目) 9 模擬試験の解説(知識系科目) 10 実戦レベルの問題を含む模擬試験④ 11 模擬試験の解説(知能系科目) 12 模擬試験の解説(知識系科目) 13 実戦レベルの問題を含む模擬試験⑤ 14 模擬試験の解説(知能系科目) 15 模擬試験の解説(知識系科目) 16 実戦レベルの問題を含む模擬試験⑥ 17 模擬試験の解説(知能系科目) 18 模擬試験の解説(知識系科目) 19 実戦レベルの問題を含む模擬試験⑦ 20 模擬試験の解説(知能系科目) 21 模擬試験の解説(知識系科目) 22 実戦レベルの問題を含む模擬試験⑧ 23 模擬試験の解説(知能系科目) 24 模擬試験の解説(知識系科目)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ネットビジネス応用	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間(2単位)	
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)	
授業概要	ネットショップ検定(レベル1)	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	ネットビジネスの環境を理解し、実践できる知識を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ネットショップ事業の準備①
	2	ネットショップ事業の準備②
	3	ネットショップ事業の準備③
	4	ネットショップの製作①
	5	ネットショップの製作②
	6	ネットショップの製作③
	7	ネットショップの製作④
	8	ネットショップのプロモーション①
	9	ネットショップのプロモーション②
	10	ネットショップのプロモーション③
	11	ネットショップのプロモーション④
	12	ネットショップの運用①
	13	ネットショップの運用②
	14	ネットショップの運用③
	15	ネットショップの運用④
	16	社会人としての基礎知識①
	17	社会人としての基礎知識②
	18	社会人としての基礎知識③
	19	社会人としての基礎知識④
	20	問題演習①
	21	問題演習②
	22	問題演習③
	23	問題演習④
	24	総合演習①
	25	総合演習②
	26	総合演習③
	27	総合演習④
	28	検定対策①
	29	検定対策②
	30	検定対策③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Excel基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ワークシートやブックの作成と管理①</li> <li>2 ワークシートやブックの作成と管理②</li> <li>3 セルやセル範囲のデータの管理①</li> <li>4 セルやセル範囲のデータの管理②</li> <li>5 テーブルの作成①</li> <li>6 テーブルの作成②</li> <li>7 テーブルの作成③</li> <li>8 関数を使用するデータの集計①</li> <li>9 関数を使用するデータの集計②</li> <li>10 関数を使用するデータの集計③</li> <li>11 関数を使用する条件付き計算④</li> <li>12 関数を使用する条件付き計算⑤</li> <li>13 関数を使用する条件付き計算⑥</li> <li>14 関数を使用した文字列の整形や変更①</li> <li>15 関数を使用した文字列の整形や変更②</li> <li>16 関数を使用した文字列の整形や変更③</li> <li>17 グラフの作成①</li> <li>18 グラフの作成②</li> <li>19 グラフの作成③</li> <li>20 グラフの書式設定①</li> <li>21 グラフの書式設定②</li> <li>22 グラフの書式設定③</li> <li>23 グラフの書式設定④</li> <li>24 グラフの書式設定⑤</li> <li>25 オブジェクトの挿入や書式設定①</li> <li>26 オブジェクトの挿入や書式設定②</li> <li>27 オブジェクトの挿入や書式設定③</li> <li>28 オブジェクトの挿入や書式設定④</li> <li>29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤</li> <li>30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	英会話入門
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 出会った時のあいさつ</li> <li>2 初対面の人と話す</li> <li>3 人を紹介する</li> <li>4 別れる時のあいさつ</li> <li>5 お礼を言う</li> <li>6 おわびをする</li> <li>7 依頼する</li> <li>8 許可を求める</li> <li>9 賛成・同意する</li> <li>10 反対・否定する</li> <li>11 聞き返す</li> <li>12 あいづちをうつ</li> <li>13 発話①</li> <li>14 発話②</li> <li>15 効果測定</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営法務入門
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 国際社会に関する基礎用語 2 国際社会に関する事例学習① 3 国際社会に関する事例学習② 4 経済に関する基礎用語 5 経済に関する事例学習 6 労働環境に関する基礎用語 7 労働環境に関する事例学習 8 経営に関する基礎用語 9 経営に関する事例学習① 10 経営に関する事例学習② 11 IT社会に関する基礎用語 12 IT社会に関する事例学習① 13 IT社会に関する事例学習② 14 AIに関する基礎用語 15 AIに関する事例学習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	英会話基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	基本的な日常会話や場面別の簡単な英会話を事例をもとに学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 基本の英会話① 2 基本の英会話② 3 基本の英会話③ 4 基本の英会話④ 5 基本の英会話⑤ 6 基本の英会話⑥ 7 覚えて便利な日常会話フレーズ① 8 覚えて便利な日常会話フレーズ② 9 覚えて便利な日常会話フレーズ③ 10 覚えて便利な日常会話フレーズ④ 11 覚えて便利な日常会話フレーズ⑤ 12 場面別英会話① 13 場面別英会話② 14 場面別英会話③ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Excel応用	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理
	2	セルやセル範囲のデータの管理
	3	テーブルの作成
	4	テーブルの作成
	5	関数を使用してのデータ集計①
	6	関数を使用してのデータ集計②
	7	関数を使用しての条件付き計算①
	8	関数を使用しての条件付き計算②
	9	関数を使用しての条件付き計算③
	10	関数を使用した文字列の整形や変更①
	11	関数を使用した文字列の整形や変更②
	12	グラフの作成①
	13	グラフの作成②
	14	グラフの書式設定
	15	オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究・グループ討議① 6 時事研究・グループ討議② 7 時事研究・グループ討議③ 8 時事研究・グループ討議④ 9 時事研究・グループ討議⑤ 10 時事研究・グループ討議⑥ 11 時事研究・グループ討議⑦ 12 時事研究・グループ討議⑧ 13 時事研究・グループ討議⑨ 14 発表① 15 発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループディスカッションとは</li> <li>2 グループディスカッションの役割</li> <li>3 抽象テーマ型グループディスカッション①</li> <li>4 抽象テーマ型グループディスカッション②</li> <li>5 抽象テーマ型グループディスカッション③</li> <li>6 課題解決型グループディスカッション①</li> <li>7 課題解決型グループディスカッション②</li> <li>8 課題解決型グループディスカッション③</li> <li>9 資料読み取り型グループディスカッション①</li> <li>10 資料読み取り型グループディスカッション②</li> <li>11 資料読み取り型グループディスカッション③</li> <li>12 フェルミ推定</li> <li>13 KJ法</li> <li>14 その他特殊型①</li> <li>15 その他特殊型②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定1級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 訓読み・送り仮名・熟語1</li> <li>2 訓読み・送り仮名・熟語2</li> <li>3 同音異義・異字同訓</li> <li>4 誤字訂正、類義語・反対語</li> <li>5 漢字の意味・使い方1</li> <li>6 漢字の意味・使い方2</li> <li>7 漢字の意味・使い方3</li> <li>8 ことわざ・故事成語・慣用句 1</li> <li>9 ことわざ・故事成語・慣用句 2</li> <li>10 特殊な漢字の読み書き1</li> <li>11 特殊な漢字の読み書き2</li> <li>12 項目別模擬試験1</li> <li>13 項目別模擬試験2</li> <li>14 直前模擬試験1</li> <li>15 直前模擬試験2</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	<p>成績評価基準</p> <p>学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。</p>

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能検定1・2級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 小数点以下の取り扱い諸注意 2 電卓実践演習1 3 電卓実践演習2 4 電卓実践演習3 5 電卓実践演習4 6 電卓実践演習5 7 電卓実践演習6 8 電卓実践演習7 9 電卓実践演習8 10 電卓実践演習9 11 電卓実践演習10 12 電卓実践演習11 13 電卓実践演習12 14 電卓実践演習13 15 電卓実践演習14
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	接遇ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 接遇マナーとは</li> <li>2 接遇の心構え</li> <li>3 お茶の入れ方、出し方</li> <li>4 お見送り</li> <li>5 後片付け</li> <li>6 接遇の流れ①</li> <li>7 接遇の流れ②</li> <li>8 演習①</li> <li>9 演習②</li> <li>10 演習③</li> <li>11 演習④</li> <li>12 演習⑤</li> <li>13 演習⑥</li> <li>14 効果測定①</li> <li>15 効果測定②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	文化リテラシーⅢ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	日本文化を理解する(知る)
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	他国の文化や簡単な言語の習得
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己紹介</li> <li>2 時事研究①</li> <li>3 時事研究②</li> <li>4 時事研究③</li> <li>5 時事研究④</li> <li>6 グループディスカッション①</li> <li>7 グループディスカッション②</li> <li>8 グループディスカッション③</li> <li>9 グループディスカッション④</li> <li>10 発表・ディベート①</li> <li>11 発表・ディベート②</li> <li>12 発表・ディベート③</li> <li>13 発表・ディベート④</li> <li>14 発表・ディベート⑤</li> <li>15 発表・ディベート⑥</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	表作成の基本操作①
	5	表作成の基本操作②
	6	表作成の基本操作③
	7	表、画像、図形を使った文書の作成(2)①
	8	表、画像、図形を使った文書の作成(2)②
	9	表、画像、図形を使った文書の作成(2)③
	10	見やすく使いやすい表にする編集操作①
	11	見やすく使いやすい表にする編集操作②
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作③
	13	見やすく使いやすい表にする編集操作④
	14	見やすく使いやすい表にする編集操作⑤
	15	見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word:長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel:目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word:段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel:複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文書の作成と管理①</li> <li>2 文書の作成と管理②</li> <li>3 文書の作成と管理③</li> <li>4 数式・関数を活用した集計表の作成①</li> <li>5 数式・関数を活用した集計表の作成②</li> <li>6 数式・関数を活用した集計表の作成③</li> <li>7 ワークシート間の集計①</li> <li>8 ワークシート間の集計②</li> <li>9 ワークシート間の集計③</li> <li>10 グラフの基本①</li> <li>11 グラフの基本②</li> <li>12 グラフの基本③</li> <li>13 目的に応じたグラフの作成と編集①</li> <li>14 目的に応じたグラフの作成と編集②</li> <li>15 目的に応じたグラフの作成と編集③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word: 応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel: 複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word: アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel: ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文書の作成と管理①</li> <li>2 文書の作成と管理②</li> <li>3 文書の作成と管理③</li> <li>4 データベース機能の利用①</li> <li>5 データベース機能の利用②</li> <li>6 データベース機能の利用③</li> <li>7 データの抽出①</li> <li>8 データの抽出②</li> <li>9 データの抽出③</li> <li>10 ピボットテーブル①</li> <li>11 ピボットテーブル②</li> <li>12 ピボットテーブル③</li> <li>13 マクロによる作業の自動化①</li> <li>14 マクロによる作業の自動化②</li> <li>15 マクロによる作業の自動化③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	会計ソフト実習
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	会計ソフトを使って基礎的な入力処理を行い、試算表や決算書を作成するスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	会計ソフトを使って日常取引および決算手続きの入力操作を行い、決算書の作成ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 振替伝票の入力操作</li> <li>2 入出金伝票の入力操作</li> <li>3 仕訳帳の入力操作</li> <li>4 売掛帳・買掛帳の入力操作</li> <li>5 現金出納帳・預金出納帳の入力操作</li> <li>6 勘定科目の追加登録</li> <li>7 付箋機能</li> <li>8 決算手続きの操作①</li> <li>9 決算手続きの操作②</li> <li>10 決算手続きの操作③</li> <li>11 決算手続きの操作④</li> <li>12 決算書の作成①</li> <li>13 決算書の作成②</li> <li>14 決算書の作成③</li> <li>15 翌期繰越処理</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	事務職ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	電話対応、接遇に関する実践的な演習をし、習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事務職の1日の流れ</li> <li>2 電話対応応用①</li> <li>3 電話対応応用②</li> <li>4 電話対応応用③</li> <li>5 接遇の流れ①</li> <li>6 接遇の流れ②</li> <li>7 接遇の流れ③</li> <li>8 演習(ロールプレイング)①</li> <li>9 演習(ロールプレイング)②</li> <li>10 演習(ロールプレイング)③</li> <li>11 演習(ロールプレイング)④</li> <li>12 演習(ロールプレイング)⑤</li> <li>13 演習(ロールプレイング)⑥</li> <li>14 効果測定①</li> <li>15 効果測定②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経理実務 I
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60 時間 (2 単位)
授業コマ数	30 コマ (1 コマ 90 分)
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	企業人として経理事務経験のある教員が、株式会社における事務経理 (社会保険・税務) についての必要な知識・処理について教育を行う科目
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経理・総務の年間カリキュラム</li> <li>2 小切手・手形の実務上のポイント</li> <li>3 入出金伝票と現金出納帳</li> <li>4 当座預金出納帳と手形記入帳</li> <li>5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分</li> <li>6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①</li> <li>7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②</li> <li>8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③</li> <li>9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④</li> <li>10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤</li> <li>11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥</li> <li>12 源泉所得税 (給与) の徴収・納付事務①</li> <li>13 源泉所得税 (給与) の徴収・納付事務②</li> <li>14 源泉所得税 (給与) の徴収・納付事務③</li> <li>15 源泉所得税 (報酬) の徴収・納付事務 (基礎) ①</li> <li>16 源泉所得税 (報酬) の徴収・納付事務 (基礎) ②</li> <li>17 源泉所得税 (報酬) の徴収・納付事務 (基礎) ③</li> <li>18 源泉所得税 (報酬) の徴収・納付事務 (応用) ①</li> <li>19 源泉所得税 (報酬) の徴収・納付事務 (応用) ②</li> <li>20 源泉所得税 (報酬) の徴収・納付事務 (応用) ③</li> <li>21 個人住民税の徴収及び納付①</li> <li>22 個人住民税の徴収及び納付②</li> <li>23 印紙税の基礎知識</li> <li>24 受取利息の会計処理</li> <li>25 消費税法の概要①</li> <li>26 消費税法の概要②</li> <li>27 消費税の会計処理</li> <li>28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ (記帳入門) ①</li> <li>29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ (記帳入門) ②</li> <li>30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ (記帳入門) ③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務 I
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30 時間 (1 単位)
授業コマ数	15 コマ (1 コマ 90 分)
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	企業人として経理事務経験のある教員が、株式会社会計における税務関連の事務経理処理についての必要な知識・スキルついて教育を行う科目
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所得税の基礎知識①</li> <li>2 所得税の基礎知識②</li> <li>3 所得税の基礎知識③</li> <li>4 年末調整のしかた①</li> <li>5 年末調整のしかた②</li> <li>6 年末調整のしかた③</li> <li>7 法定調書の流れ①</li> <li>8 法定調書の流れ②</li> <li>9 法定調書の流れ③</li> <li>10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①</li> <li>11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②</li> <li>12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③</li> <li>13 労働保険の概要及び会計処理①</li> <li>14 労働保険の概要及び会計処理②</li> <li>15 労働保険の概要及び会計処理③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	財務会計	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間(3単位)	
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)	
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 外貨建会計④ 5 リース取引① 6 リース取引② 7 リース取引③ 8 リース取引④ 9 キャッシュ・フロー計算書① 10 キャッシュ・フロー計算書② 11 キャッシュ・フロー計算書③ 12 キャッシュ・フロー計算書④ 13 キャッシュ・フロー計算書⑤ 14 キャッシュ・フロー計算書⑥ 15 税効果会計① 16 税効果会計② 17 税効果会計③ 18 税効果会計④ 19 税効果会計⑤ 20 税効果会計⑥ 21 退職給付会計① 22 退職給付会計② 23 退職給付会計③ 24 退職給付会計④ 25 退職給付会計⑤ 26 消費税法① 27 消費税法② 28 消費税法③ 29 消費税法④ 30 消費税法⑤	31 消費税法⑥ 32 消費税法⑦ 33 消費税法⑧ 34 消費税法⑨ 35 消費税法⑩ 36 法人税法① 37 法人税法② 38 法人税法③ 39 法人税法④ 40 法人税法⑤ 41 法人税法⑥ 42 法人税法⑦ 43 法人税法⑧ 44 法人税法⑨ 45 法人税法⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 売上事務の流れ</li> <li>2 納品書の作成と売上計上①</li> <li>3 納品書の作成と売上計上②</li> <li>4 請求書の作成と代金回収管理①</li> <li>5 請求書の作成と代金回収管理②</li> <li>6 請求書の作成と代金回収管理③</li> <li>7 複数の得意先との取引①</li> <li>8 複数の得意先との取引②</li> <li>9 複数の得意先との取引③</li> <li>10 仕入事務の流れ</li> <li>11 仕入管理の記帳①</li> <li>12 仕入管理の記帳②</li> <li>13 仕入代金の支払いと買掛金管理①</li> <li>14 仕入代金の支払いと買掛金管理②</li> <li>15 仕入代金の支払いと買掛金管理③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	時事
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 用語知識① 2 用語知識② 3 用語知識③ 4 用語知識④ 6 考え方① 7 考え方② 8 考え方③ 9 考え方④ 10 発表① 11 発表② 12 発表③ 13 個人研究① 14 個人研究② 15 個人研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概論
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	マーケティングの必要性和目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 顧客満足①</li> <li>2 顧客満足②</li> <li>3 マーケティングの必要性①</li> <li>4 マーケティングの必要性②</li> <li>5 情報収集と分析①</li> <li>6 情報収集と分析②</li> <li>7 流通チャネル①</li> <li>8 流通チャネル②</li> <li>9 プロモーション①</li> <li>10 プロモーション②</li> <li>11 財務知識①</li> <li>12 財務知識②</li> <li>13 事例研究①</li> <li>14 事例研究②</li> <li>15 事例研究③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 店舗データの理解① 2 店舗データの理解② 3 マーケティングの流れ① 4 マーケティングの流れ② 5 売上構成分析① 6 売上構成分析② 7 来店客分析① 8 来店客分析② 9 商品分析① 10 商品分析② 11 費用分析① 12 費用分析② 13 課題抽出① 14 課題抽出② 15 アンケート調査分析① 16 アンケート調査分析② 17 企画作成① 18 企画作成② 19 企画作成③ 20 企画作成④ 21 様々なマーケティング① 22 様々なマーケティング② 23 プレ卒業研究① 24 プレ卒業研究② 25 プレ卒業研究③ 26 プレ卒業研究④ 27 プレ卒業研究⑤ 28 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑦ 30 プレ卒業研究⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売職ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間(3単位)	
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)	
授業概要	接客に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③ 16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 営業の心得④ 20 訪問の流れ① 21 訪問の流れ② 22 訪問の流れ③ 23 訪問の流れ④ 24 演習① 25 演習② 26 演習③ 27 商談の進め方① 28 商談の進め方② 29 商談の進め方③ 30 商談の進め方④	31 商品説明① 32 商品説明② 33 商品説明③ 34 商品説明④ 35 商品説明⑤ 36 演習① 37 演習② 38 演習③ 39 演習④ 40 総合演習① 41 総合演習② 42 総合演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	プレゼンテーション
実務家教員	
学部・学科	公務員学科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	企画から発表までの一連の流れ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プレゼンテーションとは何か</li> <li>2 プレゼンテーションの種類</li> <li>3 企画①</li> <li>4 企画②</li> <li>5 企画③</li> <li>6 情報収集①</li> <li>7 情報収集②</li> <li>8 情報収集③</li> <li>9 シナリオ作成①</li> <li>10 シナリオ作成②</li> <li>11 シナリオ作成③</li> <li>12 コンテンツ作成①</li> <li>13 コンテンツ作成②</li> <li>14 話し方</li> <li>15 発表</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	卒業研究					
実務家教員						
学部・学科	公務員学科2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	後期					
科目区分	選択					
授業方法	実習					
授業時間	180時間(6単位)					
授業コマ数	90コマ(1コマ90分)					
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する					
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る					
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する					
教科書	テキスト及び参考書					
特記						
授業計画	1	業界分析①	31	課題抽出③	61	企画案作成⑦
	2	業界分析②	32	課題抽出④	62	企画案作成⑧
	3	業界分析③	33	課題抽出⑤	63	企画案作成⑨
	4	業界分析④	34	課題抽出⑥	64	企画案作成⑩
	5	情報収集①	35	課題抽出⑦	65	中間発表①
	6	情報収集②	36	課題抽出⑧	66	中間発表②
	7	情報収集③	37	仮説①	67	中間発表③
	8	情報収集④	38	仮説②	68	中間発表④
	9	情報収集⑤	39	仮説③	69	中間発表⑤
	10	情報収集⑥	40	仮説④	70	再検証①
	11	情報収集⑦	41	仮説⑤	71	再検証②
	12	情報収集⑧	42	仮説⑥	72	再検証③
	13	店舗分析①	43	仮説⑦	73	再検証④
	14	店舗分析②	44	仮説⑧	74	再検証⑤
	15	店舗分析③	45	調査・検証①	75	再検証⑥
	16	店舗分析④	46	調査・検証②	76	再検証⑦
	17	店舗分析⑤	47	調査・検証③	77	再検証⑧
	18	店舗分析⑥	48	調査・検証④	78	再検証⑨
	19	店舗分析⑦	49	調査・検証⑤	79	再検証⑩
	20	店舗分析⑧	50	調査・検証⑥	80	最終発表①
	21	店舗見学①	51	調査・検証⑦	81	最終発表②
	22	店舗見学②	52	調査・検証⑧	82	最終発表③
	23	店舗見学③	53	調査・検証⑨	83	最終発表④
	24	店舗見学④	54	調査・検証⑩	84	最終発表⑤
	25	店舗見学⑤	55	企画案作成①	85	代表によるコンテストの実施①
	26	店舗見学⑥	56	企画案作成②	86	代表によるコンテストの実施②
	27	店舗見学⑦	57	企画案作成③	87	代表によるコンテストの実施③
	28	店舗見学⑧	58	企画案作成④	88	代表によるコンテストの実施④
	29	課題抽出①	59	企画案作成⑤	89	代表によるコンテストの実施⑤
	30	課題抽出②	60	企画案作成⑥	90	代表によるコンテストの実施⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況					
備考	成績評価基準 学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。					